

「洋書の森」主催

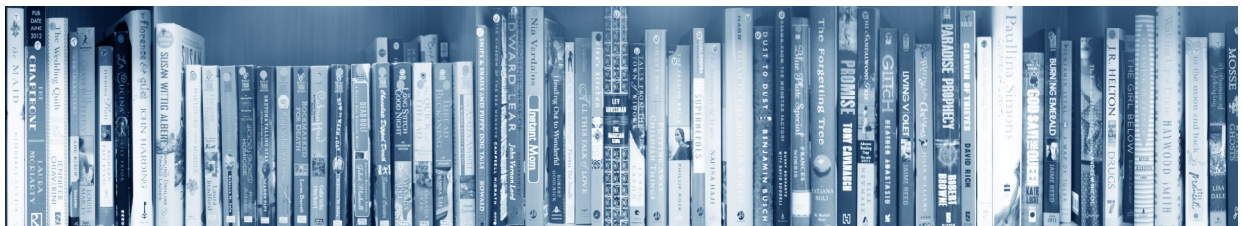
翻訳者のためのウィークエンド スキルアップ講座 第11回



金子靖翻訳教室 神楽坂校舎

出版できる 翻訳文の作り方

— まずは英語を正確に読む



現役編集者がひもとく出版翻訳の勘所を聴きに来ませんか！

研究社編集部で日々多くの著者や翻訳者と向き合う編集者・金子靖氏、その傍ら氏が各所で開催する翻訳教室は、出版を目指す翻訳者たちで毎回大盛況。ついに「洋書の森」での開催が実現しました。

さて、あなたは助動詞の過去形wouldやcouldの用法を文法的に説明できますか？ 過去形で書かれている原文の中に現在形や過去完了形が出てきたとき、どうして時制が変わったのか考えますか？ 訳文の読みやすさを優先するあまり原文をないがしろにしていますか？

今回の講座では、まず英語を正しく読むことに立ち返って、文法を理解し、辞書を丁寧に引いて、原文を正確に読んだ上で、どのように表現すれば人に読ませる日本語になるかを考えます。編集者ならではの視点で、翻訳の要点と驚くほどきめ細やかな訳文添削を、ライブでしてください。

課題は奇妙なテイストのメタフィクションです。おかしな世界を楽しみながら、出版翻訳に必要な不可欠な英語力を身につけましょう。

◆ 参加要項 ◆

日 時

2014年8月30日（土）15：00～17：00（受付開始14：30）

講 師

金子 靖 氏（研究社編集者）

会 場

日本出版クラブ会館・セミナールーム
（新宿区袋町6番地 都営大江戸線牛込神楽坂駅より徒歩2分）
<http://www.shuppan-club.jp/>

参加費

2,100円

定 員

60名（申込順、定員になり次第締切らせていただきます）
「洋書の森」未会員の皆さまもご参加になれます
希望者による恒例の交流会（参加費3200円・食事代を含む）を講師同席のもと17時より、
会場1Fレストラン・ローズルームにて開催いたします
参加ご希望の方は同時にお申込みください

お申込み・お問合せ

お名前・洋書の森会員番号（会員の方）・ご連絡先電話番号、アドレス・参加人数を
明記して「8/30（講座のみ or 講座・交流会とも）参加希望」と以下アドレス宛てに
E-mailにて送信してください

（財）日本出版クラブ内 「洋書の森」事務局
E-Mail：yousho@shuppan-club.jp TEL 03(3260)5271

◆講義内容◆

今回はBrian Evensonの短篇集 *Windeye* 収録の“Anskan House”を一緒に訳してみます。プロの方に向けた講義というより、翻訳に興味がある、翻訳を試してみたいが、どう学習したらいいかわからないという人たちにアドバイスするものにしたいと思います。

英文の読み方、訳文の練り方、辞書の使い方、インターネットの調査方法など、翻訳に必要なことを、一緒に考えましょう。

課題訳文の187ページの3の部分、すなわち5行目のAt firstから最後までを訳してください。添削を希望される方は、8月12日(火)15:00までに「洋書の森」事務局へ翻訳文をメールでお送りください。なお、添削は先着20人に限らせていただきますのでご了承ください。

提出していただいた課題は、添削して、講義を始める前に返却します。

そのうちのいずれかを(あるいはこちらで用意したものを)書画カメラで添削しながら、話を進めます(講師も試訳を用意します)。疑問があれば積極的に質問してください。

理想的な翻訳文(出版できる翻訳文)の作り方を、編集者(時々大学講師)の視点からお話ししてみたいと思います。

◆講師略歴◆

金子 靖 (かねこ・やすし)

研究社（英語関連の辞書・書籍の出版社）編集部。英語関係の書籍や大学テキスト、専門書、翻訳書、問題集の編集のほか、翻訳、新聞コラムや書評の執筆なども手がける。また東京工業大学、早稲田大学、東京理科大などで講師もつとめる。

渡辺利雄『講義 アメリカ文学史 [全3巻]』『補遺版』、中村保男『新編 英和翻訳表現辞典』、柴田元幸『サロン・ドット・コム 現代英語作家ガイド』『英語クリーシェ辞典』、宮脇孝雄『英和翻訳基本辞典』、飛田茂雄『英米法律情報辞典』、若島正『乱視読者の英米短篇講義』、佐藤良明『これが東大の授業ですか。』、小川高義著『翻訳の秘密——翻訳小説を「書く」ために』、上岡伸雄『名演説で学ぶアメリカの文化と社会』、大森望『特盛！ SF翻訳講座——翻訳のウラ技、業界のウラ話』などの文学、翻訳関係の書籍に加えて、デイビッド・セイン『ネイティブが教えるほんとうの英語の助動詞の使い方』、ロバート・ヒルキ「頂上制覇 TOEIC®テスト 究極の技術」シリーズ全6巻、ポール・ワーデンほか『TOEFL iBT®テスト 完全教本』など英語学習書も多数手がける。

2009年4月に開講した青山ブックスクールの「翻訳教室」は大好評で、毎回多くの受講生を集めている。

金子講師については、こちらをご覧ください。

http://www.powells.com/info/japan_mp_interview.html